

News

第15回地域企業情報ガイダンスを開催します



〔第14回の様子〕

地域企業情報ガイダンスを、令和5年10月21日(土)、一関高専の第1体育館と第2体育館を会場に、開催いたします。参加対象企業は、中東北地域、北上川流域地域、一関工業高等専門学校教育研究振興会などの製造業を中心とした企業60社です。

また、参加対象となる学生・生徒は、一関高専の3年生・4年生と専攻科1年生の学生および中東北地域及び岩手県南地域の高校生、専門学校生となります。一関高専の学生がデザインしたポータルサイトで参加企業の情報を閲覧できる形となっております

参加企業の募集を行っております。申込期間は、8/1(火)～8/29(火)正午迄です。当センターHPにて開催要項と参加申込書を掲載しておりますので、ご検討の程宜しくお願い致します。

News

品質管理検定まもなく

令和5年9月3日(日)に、修紅短期大学様の施設をお借りし、第36回品質管理検定を開催します。324名の受検申込がありました。

令和5年8月1日(火)付で、受検票の発送を行いました。ご確認のうえ、何かご不明な点がございましたら、当センターまでご連絡ください。



〔第35回の様子〕

Topic

キッズサイエンス終了

令和5年8月5日(土)に、一関市内および平泉町内の小学生20名とその保護者が参加して、分光器を作製。分光器をのぞくと、光の美しさに歓声があがりました。



〔講師：一関高専 二階堂 満 先生〕



〔分光器を作製する様子〕



9月は第3水曜日が・・・

イブニングの日

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂けますようお願いいたします。

『第239回産学官イブニング研究交流会』へのご案内

場所：ホテル松の薫一関

日時：9月20日(水) 講演の部 ①18:00～18:15②18:15～18:30
交流会の部 18:30～20:00 ホテル松の薫一関

講演：①演題：省エネ診断結果の紹介

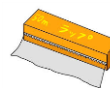
講師：日本端子株式会社 花泉工場 藤澤 博明 様

②演題：ブレインアーツの業務紹介

講師：株式会社ブレインアーツ 上方 恵理 様

講座名	時間	内 容	実施日	申込期間
機器分析講座	10時～16時	ねらい：当センターの分析機器を利用し、各分析機器の原理、測定方法を学びます。実習を通して、分析機器の操作方法の習得を目指します。 ※①～③から選択する（複数受講可） ①蛍光X線分析装置研修コース ②赤外分光光度計（FT-IR）研修コース ③走査型電子顕微鏡（SEM-EDX）研修コース	①10月6日(金) ②10月13日(金) ③10月20日(金) 3コースの講座で、各1日間です。	開始：7月3日（月）～ 〆切：9月29日（金）
RPA習得講座 （Power Automate Desktop）	9時～16時	ねらい：。本講座では、Microsoftの「Power Automate Desktop」の基礎を身に付け、単純な作業を自動化できることを目的としています。 ・応用編：主に普段Excelを使って、手作業で入力・作成・管理している業務を、Power Automate DesktopとPythonを通じてExcel作業自動化のプロセスやコーディングを実際に手を動かしながら学習していただきます。	11月 5日（日） 9：00～16：00	開始：8月28日（月）～ 〆切：10月20日（金）
ものづくり基礎講座	8時30分～17時	ねらい：機械加工の初心者、新入社員を対象に3次元CADを使用し設計～製作～機械加工まで実習していただき、ものづくりの基礎を学んでいただきます。 【座学・実技】 ①3DCAD/プリンタ基礎講座 ②旋盤加工基礎講座 ③フライス盤基礎講座 ④平面研削盤/仕上げ基礎講座 ※①～④を1日1コース×4回 ローテーションしながら、全て受講していただきます。	11月11日、18日、25日、12月2日（土） 4日間の講座です。	開始：8月7日（月）～ 〆切：11月2日（木）
QC検定3級取得支援講座 （平日コース）2回目	9時～17時	ねらい：テキストの解説だけでなく、実際の計算や作図を通した理解を通して、QC検定3級の取得を目指します。 ①品質管理概論、品質管理の手法、品質管理実施法など ②問題解決、標準化、品質保証活動など ③演習問題、解説など	1月12日(金)、19日(金)、26日(金) 3日間の講座です。	開始：10月10日（火）～ 〆切：令和6年1月5日（金）

尚、Excel VBA講座（入門編）、データ解析習得講座につきましては調整中のため、内容が決まり次第ご連絡いたします。



同じに見えてもちょっと違う ～食品用ラップのあれこれ～

食品の保存などに使用されている食品用ラップですが、その材質の一つであるポリ塩化ビニリデン（PVDC）フィルムは第二次世界大戦中には弾薬や火薬を湿気から守るために使用されていました。戦争終結後、使い道がなくなったPVDCフィルムですが、当時の技術者であったラドウィックとアイアンズがピクニックに出かけた際にレタスを包んで行ったことがきっかけで、食品包装用のラップとして販売されるようになりました。それぞれのパートナーの名前、Sarah(サラ)とAnn(アン)に由来する商品が今でも販売されています。

さて、材質はPVDC以外にもポリ塩化ビニル（PVC）やポリエチレン（PE）等があります。PVDCは水分や酸素、臭いを通しにくく長期保存や臭いの気になる食品に向きます。PVCはPVDCよりも酸素などを通すため長期保管には向きませんが、通気性が必要な野菜や果物の一時保存に向きます。なお、PVDCとPVCは塩素を含むため、ガスを通しにくい性質を発揮しますが、焼却時に塩素ガス等の発生リスクがあります。PEは価格が安く塩素を含まないため、塩素ガスなどの発生リスクはありません。水分は通しにくいですが酸素などは通しやすいため長期保管には適しませんが、野菜や果物などの空気を必要とする食品には向いています。

